

外れ値等に関するアンケート (模擬大気試料2: 捕集管吸着物試料: アルデヒド類)

- ・該当する番号 (1、2、・・・) を必ず○で囲んでください。
- B、Cについては予め○を付けています。
- ・() 内等は必要事項等をわかる範囲で記入してください。

A. 機関コードと機関名
機関コード ()
機関名 ()
氏名 () 電話番号 ()

B. 対象試料、項目
模擬大気試料2: 捕集管吸着物試料
アルデヒド類: 1. ホルムアルデヒド 2. アセトアルデヒド

C. 外れ値等の内容
内容: 1. Grubbsの方法による外れ値 (小さい値)
2. Grubbsの方法による外れ値 (大きい値)
3. 不検出
4. 平均値の0.113倍以下の値 (小さい値)

D. 外れ値等の原因 (D 3 及びD 4 については、原因がわかる場合に回答してください)

D 1 外れ値等の原因と思われる操作の箇所は
1. 前処理 (捕集管からの溶出の操作)
2. 測定 (HPLC、GC/FTD、GC/MS、HPLC/MS測定等)
3. 濃度の算出 (計算間違い)
4. 結果の報告 (記載間違い)
5. その他 ()
6. 不明

D 2 原因は (D 1 で1~2の場合に回答してください)
1. 分析方法が不適當 2. 分析機器の調整不足
3. 汚染(空試験値が大きい) 4. 標準液濃度の差異
5. チャート等の読み間違い 6. 感度不足
7. 共存物質の影響 8. 不適切な検量線
9. その他 ()

D 3 上記の具体的な原因は (D 1 で1~5を選択した場合に回答してください)

D 4 その原因は、1. 明確である 2. 推測に基づくものである

E. 外れ値等に関する対応・改善

E 1 上記の外れ値の原因は、1. 調査結果 (速報) を見る前にわかっていた
2. 調査結果 (速報) でわかった
3. 調査結果 (中間報告) 又はこの調査用紙でわかった
4. 調査結果 (中間報告) 又はこの調査用紙が来てわからなかった

E 2 わかった後に行う (予定を含む) 対応・改善を具体的に記入してください。

F. 品質管理システム

F 1 分析結果の確認は何人でしたか (分析者本人を含めない)。
: 1. 他の確認なし 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人以上

F 2 F 1 の確認は、検量線、チャート類を含みますか。
: 1. 含む 2. 含まない (1人でも含めて確認した場合には、「含む」とする)

F 3 大気試料中のアルデヒド類の分析操作に関するSOP (標準作業手順書) を作成していますか。また、SOPとおりに分析しましたか。
: 1. 作成しており、SOPとおりに分析した
2. 作成しているが、SOPとおりに分析しなかった
SOPと異なった点は ()
3. 作成していない

F 4 分析結果には、不確かさを考慮していますか。
: 1. 考慮している 2. 考慮していない

F 5 F 4 で「考慮している」の場合は、不確かさは分析結果の何%に相当しますか。
() %

ご協力ありがとうございました。